

財団法人 8020 推進財団
平成 20 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：健口ウォーキングによる健康づくり運動について
～地域住民が主体となる 8020 運動～

2. 申請者名：神奈川県相模原市富士見 6-1-1 相模原市総合保健医療センター 6 階
社団法人 相模原市歯科医師会 会長 河原 武彦

3. 実施組織：相模原市歯科保健推進協議会

〔社〕相模原市歯科医師会が事業主体となり、相模原市健康づくり普及員連絡会、相模原市食生活改善推進団体わかかな会、さがみはら市民健康づくり会議、神奈川県歯科衛生士会相模原支部及び相模原市保健所で協議会を構成する。

4. 事業の概要：1) 『健口(けんこう)さわやかハンドブック』の作成・配布、2) 『健口(けんこう)ウォーキング』歩行記録表彰、3) 8020 運動 20 周年記念『歯の衛生週間事業特別講演会』、4)・5) 地域の健康づくり団体が実施する健康教室と連携した、歯の健康や歯科の受診行動に結びつけるための講習会実施(歯科医師、歯科衛生士の派遣)、6) リーフレット等による歯科保健普及啓発活動、7) 相模原市歯科保健推進協議会の開催

5. 事業の内容：1) 市民が自身のお口の健康について、より関心を持ち、その健康を維持・増進する手助けをするため、『健口(けんこう)さわやかハンドブック』を作成。お口の健康診査(成人歯科健診)受診者や歯科治療を行った者、各種事業にて配布し、お口の健康づくりとウォーキングを心がけている者を支援する。また、ハンドブックの配布により、お口の健康診査(成人歯科健診)のさらなる受診率向上を目指す。2) 『健口さわやかハンドブック』に、毎日歩いた距離を記録し、歯の健康管理とウォーキングを年間通して実践した人を対象に表彰を行う。3) 8020 運動 20 周年記念『歯の衛生週間事業特別講演会』の実施。歯科大学教授による講演会と歯科衛生士による実技講習会を行う。4) 地域の歯科保健活動への支援：相模原市健康づくり普及員連絡会主催の『元気倶楽部』(高齢者対象の運動教室)に歯科衛生士を派遣し、口腔周囲筋のトレーニングを実施し、口腔機能の向上を図り、口腔と全身の健康状態の関与について指導する。5) 相模原市健康づくり普及員連絡会が各地域で行う各種講習会や研修会において、歯科保健をテーマとした講演会『お口の健康セミナー』を実施。介護予防のための口腔ケアを含む指導を市民に幅広く普及・啓発するため、歯科医師・歯科衛生士を派遣する。6) 相模原市健康づくり普及員連絡会、相模原市食生活改善推進団体わかかな会が各地域で行う各種講習会や研修会において、「健口ウォーキングによる健康づくり運動」を PR するとともに、リーフレットなどを通じた歯科保健の啓発活動を行う。(地域食生活改善普及講習会、地区ウォーキング事業、公民館まつりなど) 7) 相模原市歯科保健推進協議会を構成する団体のネットワークの強化を図るため、年 2 回の歯科保健推進協議会を実施する。

6. 実施後の評価(今後の課題)：3 年目を迎えた「健口ウォーキングによる健康づくり運動」だが、この活動を継続したことにより、地域の健康づくり活動の中に歯科保健の分野が徐々に浸透してきたように感じられる。特に今年度は、地域の健康づくり団体が主体となって「お口の健康づくり」に積極的に取り組んでいたのが印象的であった。団体に継続して実施してきた歯科保健普及啓発活動が実を結び、今年度の活動につながったのではないと思われる。お口の健康が全身疾患予防やアンチエイジングに関与するという認識が、多くの市民にできてきたと言えるのではないか。また、同時に毎日のセルフケアや歯科医院での定期健診受診の動機付けとすることも目標としていたが、お口の健康診査(成人歯科健診)の受診率は、平成 20 年度 4 月からの対象年齢拡大および受診券の発送方法の変更等が誘因となり、昨年度より低下してしまった。今後は、地域住民が主体となって活動をすすめるうえで必要となる、知識と技術の提供を引き続き行い、さらに多くの市民の方々に「お口の健康の大切さ」を PR し、健診率の向上を図りたいと考えている。

